



バードパラダイスの全景

23万²m²に広がる「鳥の動物園」

バードパラダイス(シンガポール) 大林組

シンガポール北部のマンダイ野生生物保護区に位置するバードパラダイスは、400種を超える鳥類が3500羽以上飼育されている「鳥の動物園」。施工を手掛けた大林シンガポールは、23万平方メートルに及ぶ大規模な敷地内で既存野生動植物保護を優先とした施工計画を立案し、点在する鳥かごなど各施設を整備した。来園者は、鳥たちが暮らす環境の中で、安全に一体感を味わえる施設となっている。

大型鳥類飼育用メッシュ



エントランスの屋根材



バードパラダイスでは、東南アジアやニューギニア、オーストラリア、アマゾン、南アフリカ、南極など地域別に生息する鳥の生態を間近に観察できる。鳥かご(エイビアリーメッシュ)



ペンギン館の亚克力パネル

世界最大級の鳥かご構築

建設工事は、その複雑な設計と既存生物保護への配慮から、大きな制約とリスクを伴うプロジェクトとなった。特に世界最大級の鳥かごは最大35ト、最長30・2桁を含む170本の鉄骨支柱があり、その精度管理が重要となった。さらに、全8カ所の鳥かごのステンレスメッシュは約10万平方メートルあり、大規模なステンレスワイヤの緊張とステンレスメッシュの縫合の施工が求められた。

は世界最大級の大きさで、ステンレスのケーブルとメッシュで構築され、鳥の安全と健康を確保する。鳥たちの生態をただ見せるだけでなく、世界で絶滅の危機にひんしている鳥類の一部を保護しており、次世代へ教育の場を提供する機能を果たす。世界中の自然愛好家や保護活動家にとって必見の訪問地となっている。

概要

- ▷実施者＝大林シンガポール
- ▷実施国＝シンガポール共和国
- ▷実施都市・地区＝マンダイ地区
- ▷プロジェクト関係者＝Mandai Park Development(発注者)、RSP Architects Planners & Engineers(意匠設計)、Aecom Singapore(構造設計)、Surbana Jurong Consultants(設備設計)、Ramboll Studio Dreiseitl(外構設計)、(地下埋設トンネル設計)Fong Consult Pte、Tensys Engineers(鳥かごコンサルタント)、Ignesis Consultants(消防)、Black & Veatch (S E A) (動物汚水処理システム)
- ▷実施期間＝2018年3月～22年10月

